

KEN TIMES

残暑お見舞い
申し上げます

2019年 8月号

◆母校、飯山高校(飯山北)甲子園初出場!!!



...感動しました。

飯山高校の選手達が甲子園の土を踏んでいる。ただもう、それだけで。

飯山北高を卒業して13年経った今ですが、あの校舎(旧校舎)で送った日々が、ついこの間のことのように思えて仕方ないのです。野球観戦にそこまで関心のなかった僕は、今回の甲子園も、長野県予選決勝戦からの応援でした(テレビで)。しかしあの決勝も...ドラマでしたね。終盤は完全に相手(伊那弥生ヶ丘)の追い上げムードに押されていましたが、延長10回にサヨナラ勝ちって...。見せてくれるじゃないですか! 飯山ナイン! ヒヤヒヤでしたよ。生きているうちに歴史を作ってくれてありがとう!!!

飯山高校の甲子園初戦は4日目の8月9日。我々応援団は、前日8日に飯山駅をバスで出発しました。僕は、同僚の飯山高校出身のメンバー(飯山の目代さんと、木島平の高山君)と行きました。70台出たというバスも、募集開始直後、すぐに完売だったようですね。(飯山市人口約2万人、応援団の数はなんと3000人!!!)

むろん、僕は甲子園球場には初めて行ったわけですが、まずスタジアムの外観がカッコよかったですね。緑の蔦で覆われた壁は、数々の試合の伝統を感じさせるものでした。僕らの席は、白で埋め尽くされた、あのアルプスタンドです。ビールを片手に応援をしました。最初に思ったことは、想像していたより、ダイヤモンドに近い! ということです。選手の表情こそは見えませんでした。背中から感じる雰囲気や緊張感がヒシヒシと伝わってきました。実際に球場へ出掛けて観るっていうのは、この一体感を味わうためなんだな、と改めて感じました。

試合中は、隣で応援していた元飯山北高野球部の高山君が、ずっと独り言で実況・解説をしてくれていたもので、無知な僕にも選手の心理面の状況なども、よりわかりやすく伝わってきました。...改めて野球は面白いと思いましたよ。常に色々な状況が変化しながら絡み合い、重なり合っていて、その時点での最善の状況判断を一瞬のうちに行う。もちろんそれも予想する結果の通りにはならないので、より確率の高い方を選んでいく。仕事においても大いに学ぶべきものがありましたね。

高校野球を見ていて、何よりもいいなあと思ったのは、攻守交代の時あのダッシュです。もちろん、あそこでダッシュしても試合の結果に直接影響するわけではないのですが、選手達が元気よく一斉にワアと出てきて、それぞれのポジションに入っていきあの光景は、見ていて非常に気持ちがいいのです。元気が出ます。甲子園のあの大舞台でもしっかりそれを全うしている飯山高校の選手たち。僕は何よりもそこに感動しました。選手たちのお父さん、お母さん、ご家族、地域の方々、仲間...自分の周りの全てに感謝し、「今、この瞬間に全力を尽くす」という思いが、そのダッシュから感じられたのです。野球の教え子が何人かいるという高山君も、隣の目代さんも、どこに何を感じていたかは、それぞれだったと思いますが、終始号泣しておりました。

名門・仙台育英に20-1と、試合には気持ちよく敗れたわけですが、飯山高校のあの先制点には沸きましたね! 信じられませんでした。嘘でしょ!? 奇跡って起きるの!? みたいな。

母校の甲子園出場...。一生のうちに何度もない今回のこの機会(最後じゃないと信じています)でしたが、実際に現地まで応援に行って本当に良かったです。たった1日だけのことでしたが、人生の忘れられない色濃い1ページとなりました。

もう一度最後に...。ありがとう。飯山高校!

◆下田サーフトリップwithなおっさんファミリー

サンアントンの健策さんにキャンピングカーを借りて、同級生で幼馴染みの直人a.k.aなおっさんファミリーと静岡県・下田へ行って来ました。家族旅行？いや、親父同士の道楽に、家族がついて来てくれたと言ったほうが正しいでしょう。このスタイル、いいね！

直人の娘と僕の娘も誕生日が三日違いの同級生ですが、サイズは3倍違います。二人ともこの先どうやって育っていくのやら...楽しみですね。

宿は伊豆高原にある、キッチン付きのホテルに泊まりました。オーシャンビューで温泉もサウナもプールもあり、最高の条件です。クーちゃん(直人の奥さん)が一部屋でうまく取ってくれたので、格安で泊まりました。二日目の夜は、近隣の海でとれた魚介類を近くのスーパーで買い、妻子を置いて一日中ひたすら遊んだ親父が罪滅ぼしの料理です。...これがまた悔しいんですよ。直人が上手だから。僕はホタテのバター焼きと、なんとかという貝のワイン蒸しを作りました。一人で苦戦していましたが、こうやって食べる料理はやっぱり楽しく、美味しいものです。こういう酔い方が一番幸せかもしれませんね...

肝心のサーフィンの写真がなぜ無いのかって？ いや～、太平洋の洗礼を受けましたね。やられましたよ笑 沖にすらまともに出れね～って感じです。次回必ずリベンジします。現地でピックアップしてくれた地元のマユちゃん(写真の超美人)、本当にありがとう！



◆立命館大学体育会スキー部創部90周年！



立命館大学体育会スキー部創部90周年記念式典・祝賀会
2019.07.06 於 京都タワーホテル

7月6日、京都タワーホテルにて式典が行われました。大学を卒業して9年経ちましたが、当日は歳の近いメンバーも多く集まり、非常に楽しい時間となりました。僕は幸運なことに、卒業後もインカレ・全関西で後輩たちがウチのペンションに毎年泊まりに来てくれるので、ほとんどの若いOB達のことはわかります。みんな社会に出て色々な苦勞もあるはずなのに、本当にいい顔をしていました。先輩のOBの方々もとにかく凄い方ばかりです。会社の経営者、役員の方もいっぱいいるわけですが、何と云っても人間性が素晴らしいのです。立命スキー部がこの先も繁栄していくよう、とにかく部を大事にしよう、という気持ちが伝わってきます。

僕たちが現役の時には80周年の式典で、それからあっという間に今回の90周年。間違いなく次の100周年はもっとあっという間に来ることになると思いますので、その時も自信を持ってここに参加できるよう、この先10年も張り切っていこう！ そう思える、有意義な時間になりました。3次会以降の京都の夜も楽しかったな～。寺島先輩、ご馳走さまでした！

—6月・7月のお客さまの声—

【連絡先】

河野謙(こうのけん)

〒389-2502

長野県下高井郡野沢温泉村豊郷9829

(横落・Fujiyoshi)

・携帯: [080-1294-5162](tel:080-1294-5162)

・Mail: fat.da.sumo.ken-ken@i.softbank.jp

・携帯Mail: fat.da.sumo.ken-ken@softbank.ne.jp

その他 LINE、facebookのMessenger

もご利用ください。